

「特定非営利活動法人 テクノ未来塾」との探究学習

9/16(土)、本校図書館にて「特定非営利活動法人 テクノ未来塾」をお招きし、探究学習が行われました。

「テクノ未来塾」は「技術者が業界・専門分野を超えて、夢のある未来を自ら作る活動を行い、技術者の自立・自律を目指す活動を応援する」という趣旨で様々な活動を行っています。今年度もテクノ未来塾から企業の研究開発職、中小企業診断士など、県内だけでなく県外からも多彩な職種の社会人をお招きし、探究学習を行いました。今回の学習は、「これからの社会で『学ぶこと』と『働くこと』とは何か」を考えることが中心的テーマでした。



前半はテクノ未来塾の皆様の自己紹介とキャリアについてお話がありました。それぞれの経験をもとに高校・大学での学びや、それらと仕事の関連性についてレクチャーと意見交換を行いました。その中で「苦手科目を避けて進路選択をしたが、結局その科目が仕事の中で必要だった」「働くうえで文理両方の能力や知識が必要」「流れに身を任せてきたが、いつも一生懸命取り組んできた自信がある」といった印象的な言葉もメンバーの皆様から聴くことが出来ました。生徒達は前半の質疑応答やレクチャーを通し、これからの正解のない時代を生きていくために、考える力が必要であること、その力の根底には好奇心や文理にとらわれない広範囲にわたる知識があることに気が付いたようでした。



後半は生徒とテクノ未来塾のメンバーが2班に分かれて「働くことと学ぶこと」というテーマに沿って、将来の仕事や進路実現について考えを深めました。どのグループにおいても、テクノ未来塾の方々が生徒らの現在の悩みや考えを丁寧に聞き取り、それに対して自らの経験を交えながらアドバイスをしてくださいました。生徒達は自らの考えを口に出して伝えることで、それまで自分でも気付いていなかった思いを発見すると同時に、普段接することのない社会人からのアドバイスに熱心に耳を傾けることで更に考えを深めていました。

最後に、各班で話し合った内容をもとに、生徒らが考えをホワイトボードにまとめて発表し、皆が考えた「働くこと」と「学ぶこと」の意味を共有しました。

学ぶことを働くことに繋げるために、また生涯学び続けるために、自らの興味や関心の見極めが大切であること。これまでの考え方や価値観が通用しなくなっていくであろう社会を生き抜くために、「主体的に」学ぶ力や考える力が重要であること。働く上で、必ずしもいつも自分のやりたいことができるわけではないが、選択肢を広げるために様々な分野の知識が必要であること。好奇心を持ち続けて広い視野で課題解決にあたること。社会人との対話を通して、多くのことを生徒が学びとった様子が発表から伝わってきました。今回の探究学習で得た気づきを、今後の学習や進路選択に活かしてほしいと思います。

